

# 先進事例 紹介

## 消防団の充実強化に係る様々な取組について

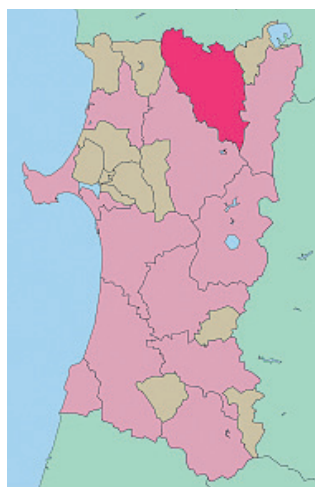
秋田県 大館市消防団

### 1 大館市の概要

大館市は、秋田県北東部に位置し、米代川と長木川、2つの清流に挟まれた盆地を中心に広がっています。古くから天然秋田杉による林業と良質な地下資源による鉱業で栄えており、県北の中心都市として発展してきました。平成17年6月、比内町、田代町を編入し、現在の市域となりました。

秋田県を代表する郷土料理「きりたんぼ」は、本市が本場。この料理に欠かせない地鶏「比内地鶏」も本市の特産です。また、東京渋谷のシンボル「忠犬ハチ公」の

管内図



50km

故郷としても知られ、大館駅前を始め市内至る所にハチ公像があります。

現在は、鉱業で培った技術でリサイクルの街として、また、忠犬ハチ公と同じ秋田犬あきたいぬにふれあえる街として発展しています。さらに、北海道新幹線の開業や東京オリンピック開催に伴う訪日観光客の獲得のため、秋田犬を前面に出したPRをしています。



### 2 大館市消防団

本市の消防団は、団本部を筆頭に40分団で組織されており、平成28年4月1日現在、1,092人（基本団員1,060人うち男1,013人・女47人、機能別団員32人うち男2人・女30人、条例定数1,180人）の消防団員が在籍

しています。現在、団組織再編に向けて準備に入っており、最終的には15分団となる予定です。

本市消防団も、団員数の減少や高齢化が問題となっており、その対策の一環として、様々な取組をしています。

### 3 看護福祉大学生による機能別消防団

東日本大震災を契機に、災害の最前線で活動する団員の他に、その後方支援活動を行う団員や避難所運営を行う団員の必要性が高まりました。

そこで、救急医療の講義や普通救命講習などで講師の依頼されることが多く、関係の深かった秋田看護福祉大学にこちらから機能別消防団員の創設を働きかけ、発足に至りました。平成25年4月1日、男2人、女17人の計19人で発足し、平成28年4月1日現在、男2人、女30人の計32人となっています。

所属は団本部、任期は大学在学期間。卒業後、そのまま基本団員になることも可能としています。



#### 待遇

費用弁償・公務災害補償・退職報償金については基本団員と同じ。ただし、年報酬は基本団員の1/6、退職報償金は基本団員となり5年以上勤務した場合にのみ支給となります。

活動服は貸与。ヘルメットと防寒服については、活動する際にその都度貸し出しています。

#### 訓練・活動

辞令交付時に消防礼式の基本を訓練するほか、地域の防災訓練や大館市総合防災訓練に参加し、DMATと共に応急手当や応急救護所設置・運営、避難所設営や運営のための物資搬入訓練等に参加し、4年間で後方支援活

動の一とおりを経験できるようにしています。

そのほか、消防署で開催している普通救命講習や上級救急救命講座、消防出初式にも参加しています。



予定です。ちなみに、この着ぐるみは、消防職員・団員のOBで組織される大館市消防OB会から寄贈を受けたものです。



## 4 大館市消防団応援の店

消防団員の福利厚生、満足度の向上や新規消防団員の確保、そして地域の活性化を目的に、この事業を平成27年2月から開始しました。東北管内では山形県上山市に続いて2番目、秋田県内では初めてとなる試みです。

### 内容

消防団員が身分証明書を提示することにより、協賛店独自の割引等のサービスが受けられる事業です。

現在、協賛店は12店舗で内訳は整体1店、ホテル1店、写真スタジオ1店、OA機器取扱店1店、ホームセンター1店、印刷業者1店、洋服直し店1店、飲食店3店、御菓子屋1店、運動具店1店です。このうち、消防団員が経営に携わっているお店が整体と写真スタジオの2店舗です。

### 今後の展望

協賛店は、広報して待っているだけでは全く増えません。一軒一軒訪問し、主旨を理解していただかなければならないという難しい面がありますが、団員のニーズに合った協賛店をもっと充実すべく、地道に協力依頼をしていきたいと考えています。

## 5 成人式会場での団員募集PR

昨年度の大館市成人式に大館市消防本部のマスコットキャラ「ハッチ君」の着ぐるみを着て、愛嬌を振りまきながら団員募集のパフレットを配布しました。今後も市内で予定されている「本場大館きりたんぼまつり」や「肉の博覧会in大館」などの大型イベントでも実施する



## 6 学生消防団活動認証制度

機能別消防団員として当市の消防団活動に従事した看護福祉大学生の就職活動を支援し、本市への就職、定住を推進し、看護師や福祉士といった人材ニーズと正規団員への担い手ニーズを併せて確保することを目的に、昨年度、この制度をスタートさせました。

実際の運用に当たっては、この認証制度が就職活動の際にプラスに働くようにと地元の大館北秋田医師会へ市長から直接、協力を依頼したほか、大館市社会福祉法人連絡会や秋田県自治病院開設者協議会にも協力を依頼しました。



この制度が少しでも消防団活動に頑張ってくれる学生たちの励みになってくれればと考えております。

## 7 市公用車による消防団員募集PR

市公用車100台に下図の「消防団員募集ステッカー」を貼り付けて、市民に広くPRしています。ちなみに、こちらの作成に当たっても旧比内町の消防団OBで組織される比内消防OB会から寄付をいただきました。



このように、大館市消防団では、大館市はもちろん、消防OBの協力を仰いで消防団の充実強化に取り組んでおります。